

統計から見た恵那市の現状

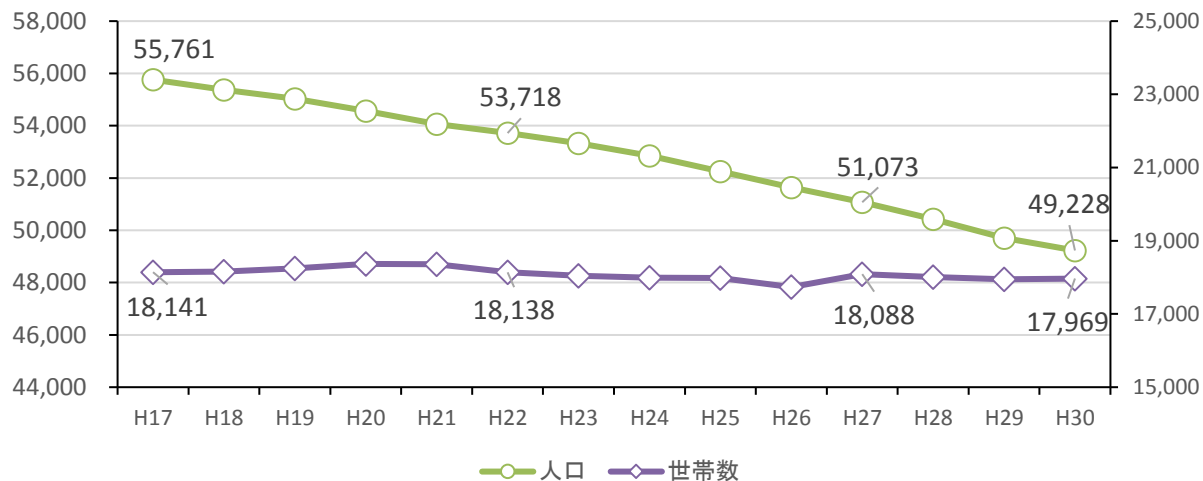
1. 人口

◇本市の人口は平成30年10月現在で49,228人、平成17年と比べると6,533人減少(11.72%減)しており、年間約500人ずつ減少している。

◇世帯数は横ばいの状態である。

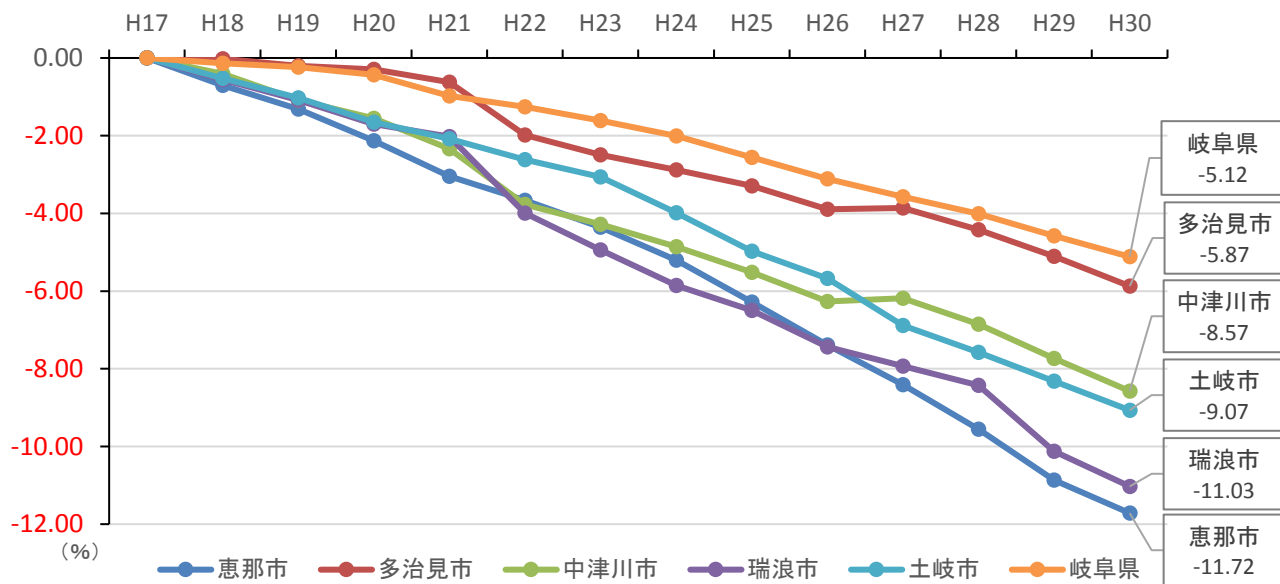
◇岐阜県及び東濃の各市においても人口は減少しており、推移を比較すると、恵那市の減少率が一番高い。

人口・世帯数の推移



出典: 岐阜県人口動態統計調査

平成17年を基準とした減少率の推移

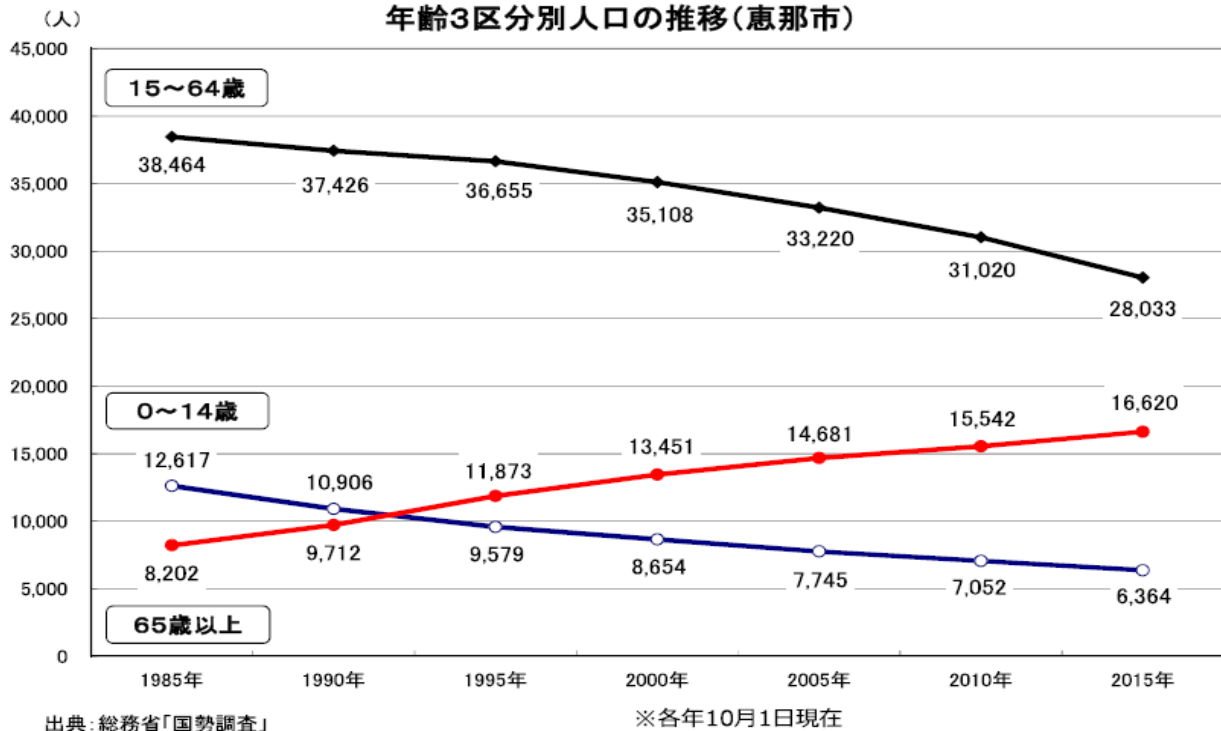


出典: 岐阜県人口動態統計調査

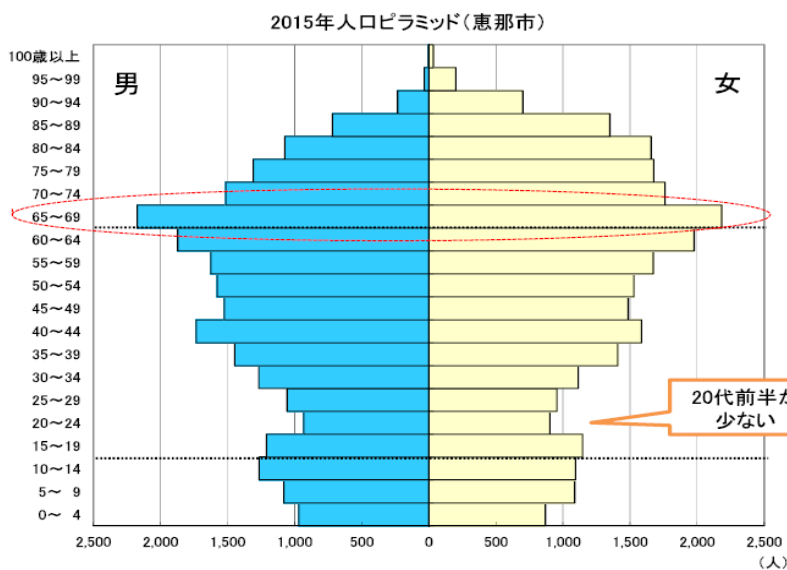
◇0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加している。15～64歳（生産年齢人口）も減少が続いている。
 ◇若い世代が少なく、中高年層に厚みのある年齢構造となっており、今後、厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口の増減数	2005→2010	2010→2015
0～14歳	△ 693	△ 688
15～64歳	△ 2,200	△ 2,987
65歳以上	861	1,078

	年齢3区分別人口の割合（2015年）		
	恵那市	岐阜県	県内順位
0～14歳	12.5%	13.2%	26位
15～64歳	54.9%	58.7%	32位
65歳以上	32.6%	28.1%	10位



出典: 統計からみた恵那市の現状(岐阜県)



	人口(人)	構成比(%)
総人口	51,073	100.0
0～14歳	6,364	12.5
15～64歳	28,033	54.9
65歳以上	16,620	32.6

＜岐阜県全体の人口構成＞

- ・0～14歳 : 13.2%
- ・15～64歳 : 58.7%
- ・65歳以上 : 28.1%

＜構成比の県内順位＞

- ・0～14歳人口 : 26位
 - ・15～64歳人口 : 32位
 - ・65歳以上人口 : 10位
- ※数値の大きい順

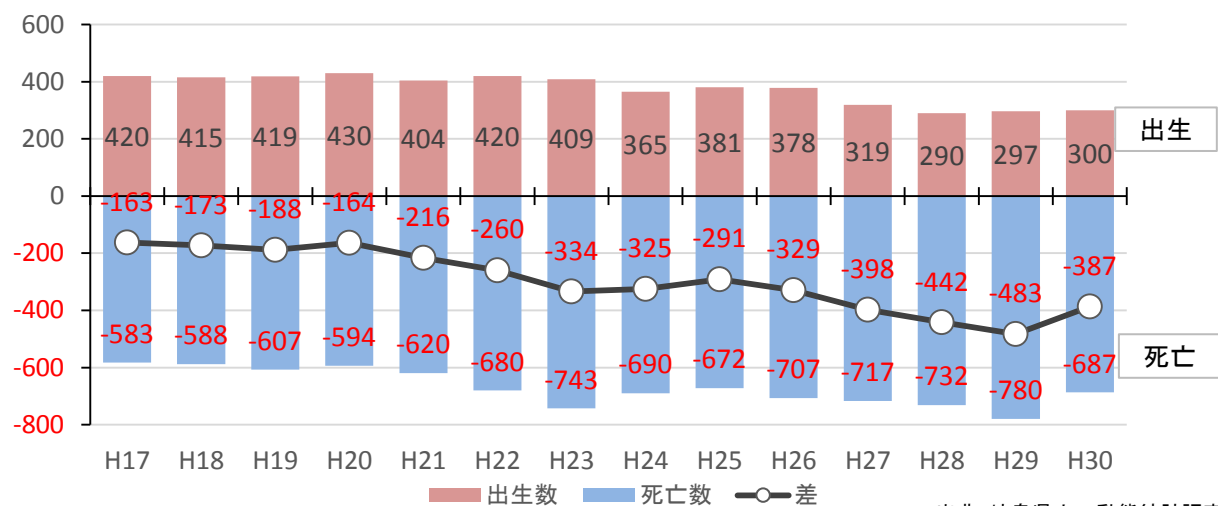
出典: 総務省「H27国勢調査」

➤4

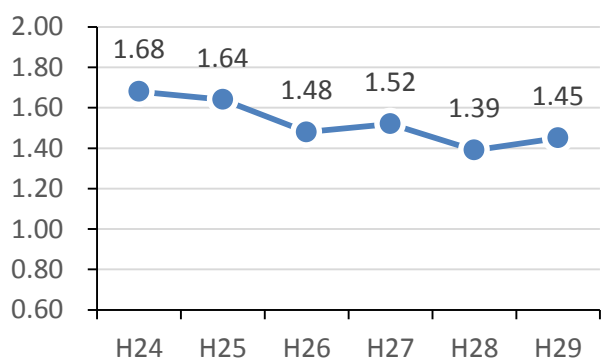
出典: 統計からみた恵那市の現状(岐阜県)

- ◇死亡数が出生数を上回る「自然減」が続き、減少幅も大きい。
- ◇平成29年の合計特殊出生率は1.45であり、東濃5市の比較では中津川市に次いで2番目である。
- ◇母親の年代別出生数の割合で30代後半以降に出産する割合は平成19年は15.2%に対し平成29年は29.5%と増加しており晩産化が進んでいる。

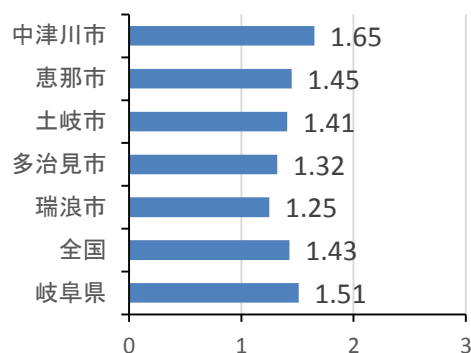
自然増減(出生・死亡)の推移



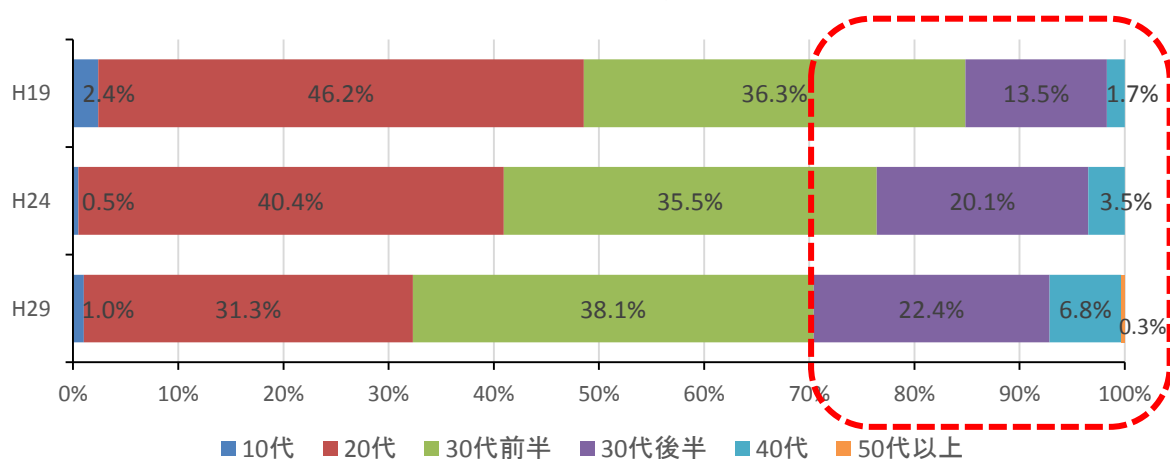
合計特殊出生率



合計特殊出生率比較(H29)

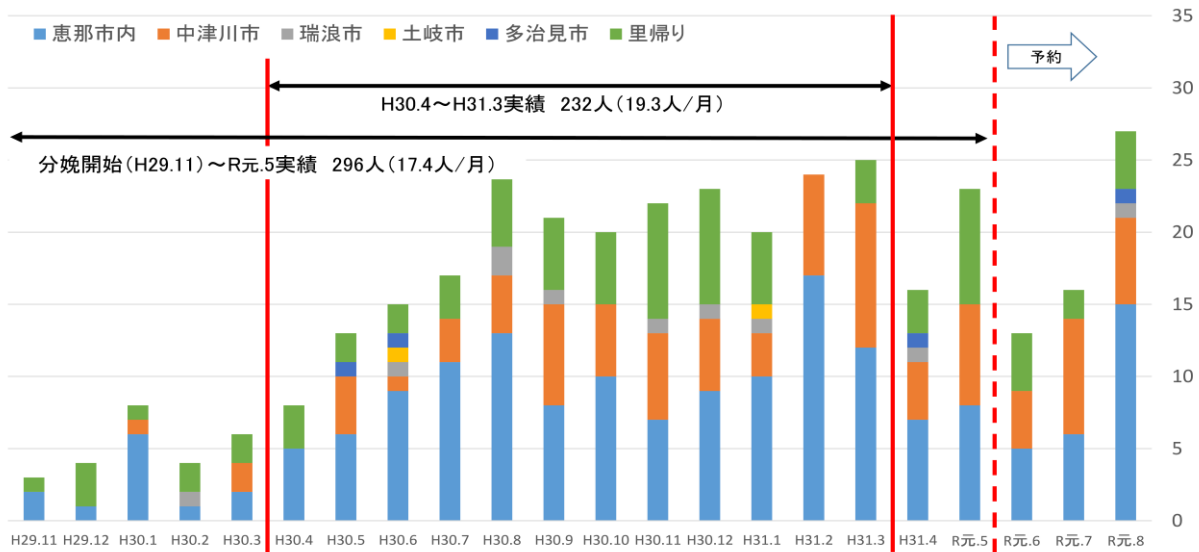


母親の年代別出生数の割合



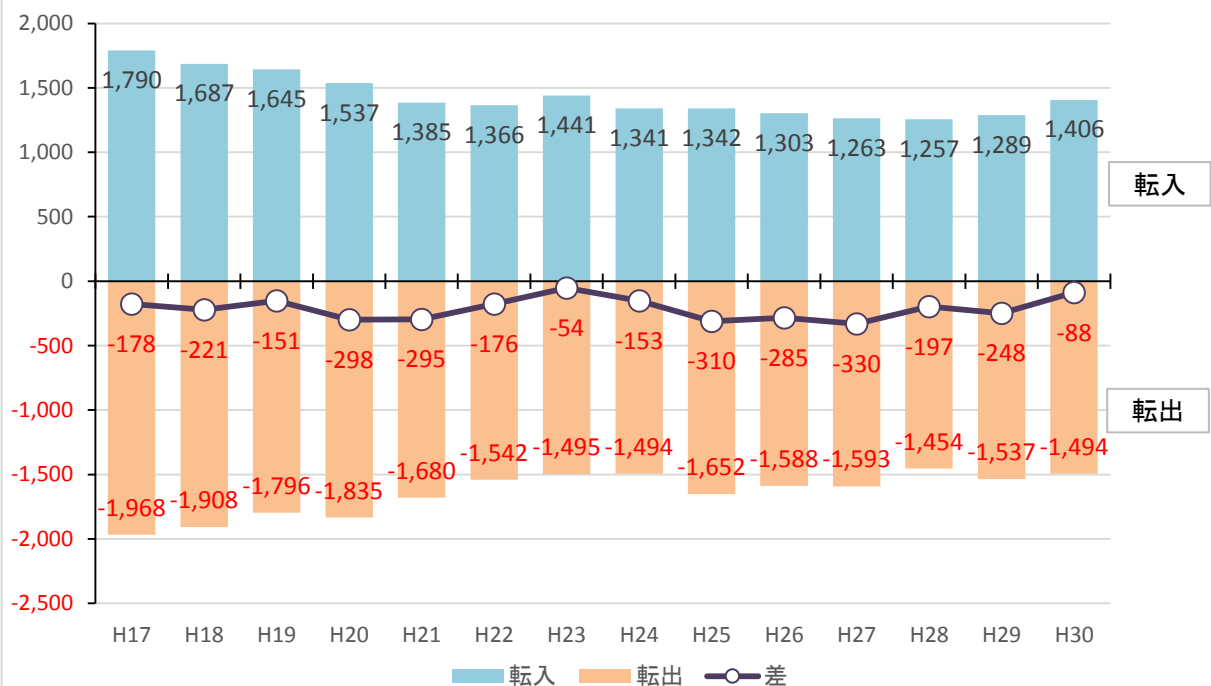
出典: 恵那の公衆衛生(恵那保健所)

市立恵那病院 分娩実績



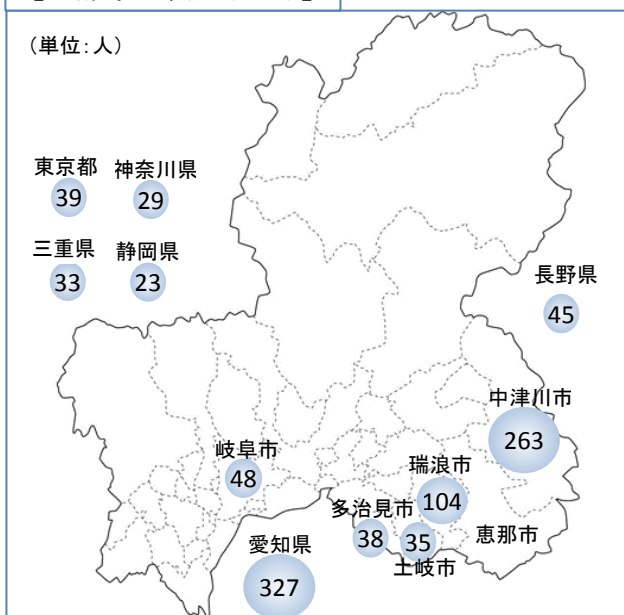
- ◇社会動態では転出超過の状態が続いている。
- ◇H30の転入・転出の内訳をみると、県内では「中津川市」「瑞浪市」など近隣市への転入転出が多い。
- ◇県外では転入転出共に全体の約1/4が愛知県への移動である。
- ◇年代別、移動理由別の社会動態をみると、職業上や結婚等を理由として20～30代の女性

社会増減(転入・転出)の推移

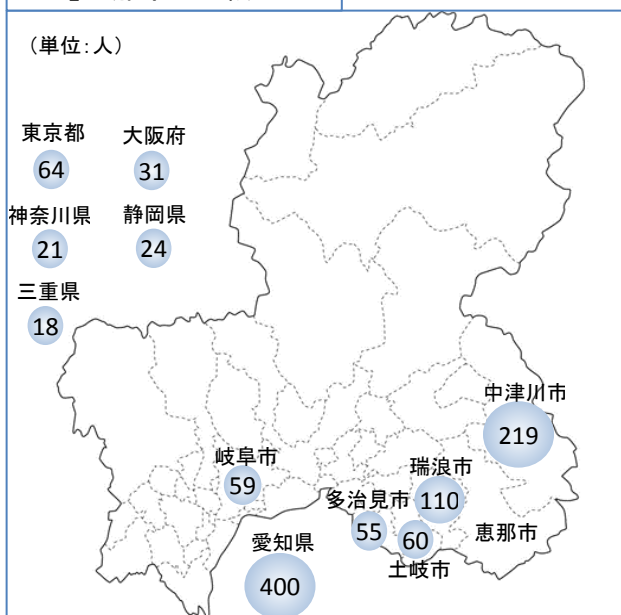


出典: 岐阜県人口動態統計調査

【恵那市へ転入(H30)】

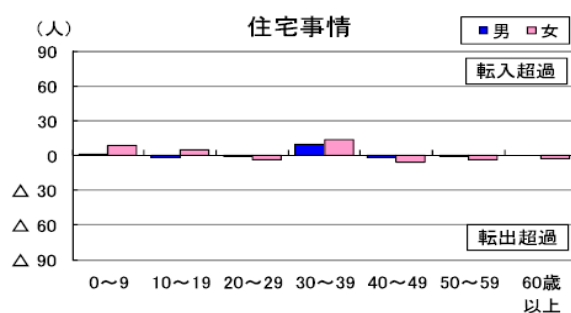
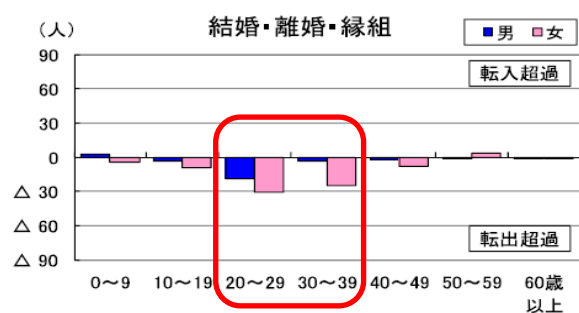
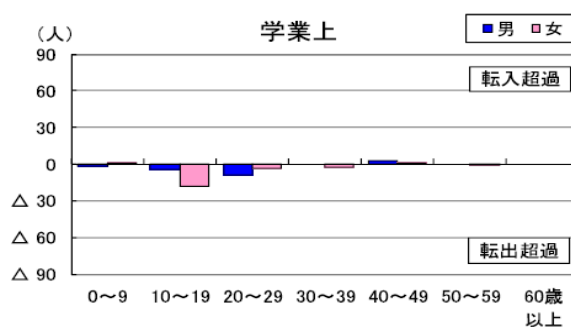
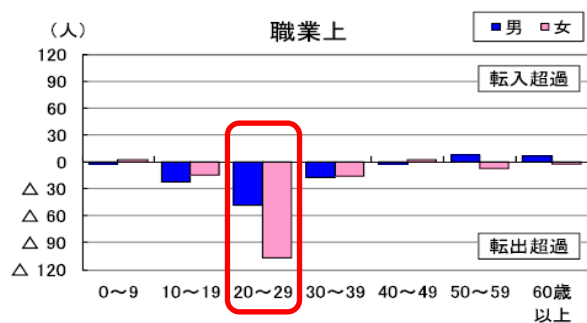


【恵那市から転出】



出典: 岐阜県人口動態統計調査

主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(恵那市 H29)

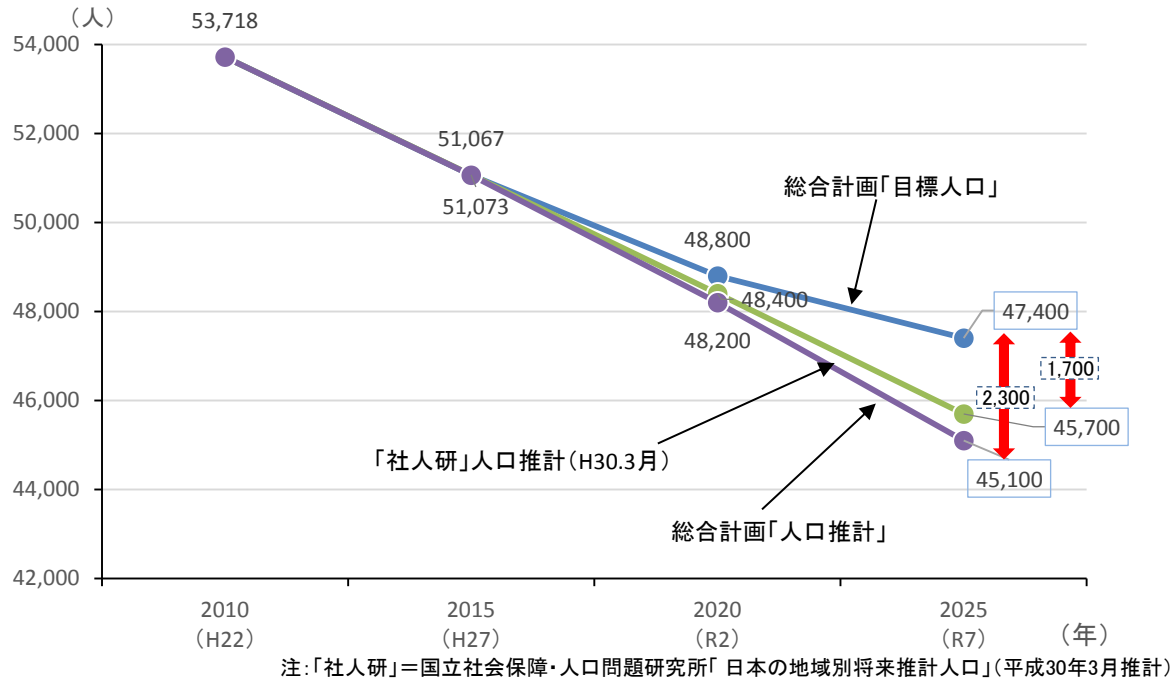


出典: 統計からみた恵那市の現状(岐阜県)

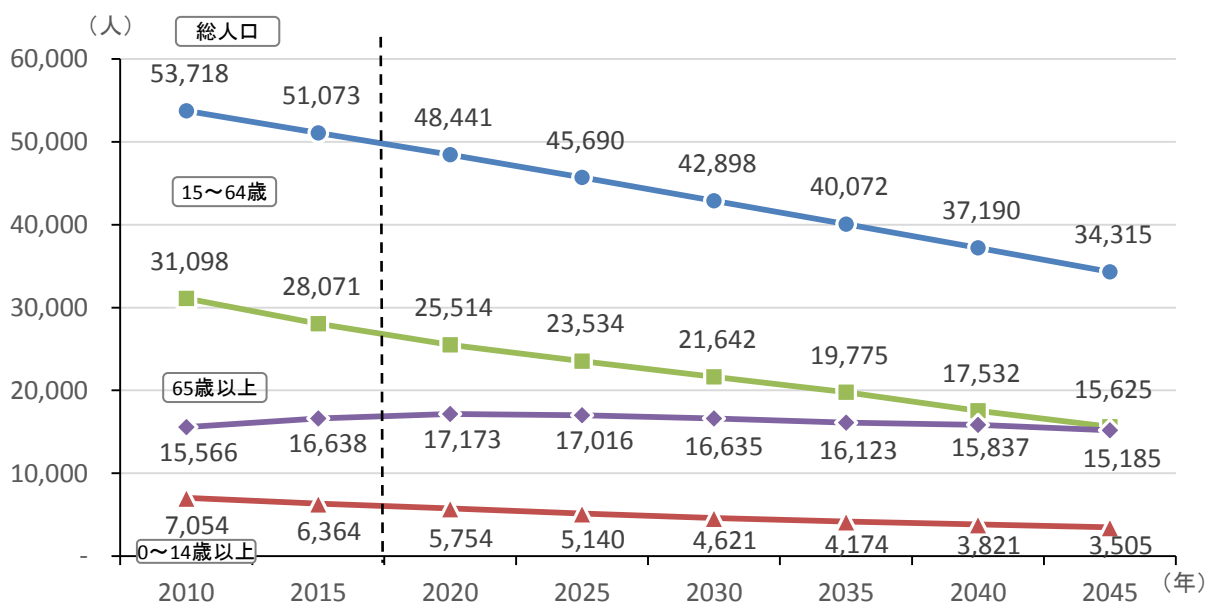
◇第2次総合計画では策定時の人口推計45,100人対し、目標人口を47,400人(差2,300人)としている。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、推計人口45,700人目標人口との差1,700人となった。

◇今後も人口減少が進み、特に15～64歳(生産年齢人口)の人口減少が著しく、2045年には65歳以上の人口とほぼ同数になると推計されている。

第2次総合計画目標人口と人口推計



将来の人口推計(総人口及び年齢3区分別人口)

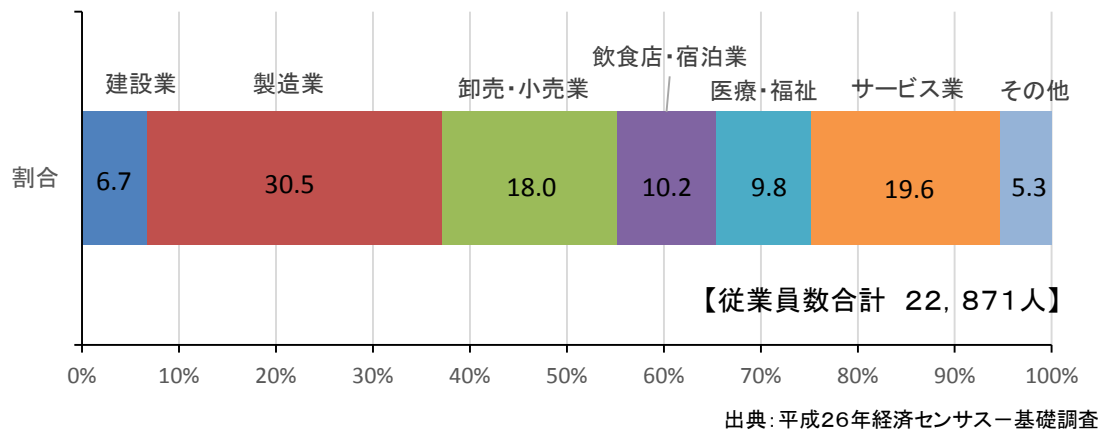


出典:国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成30年3月推計)

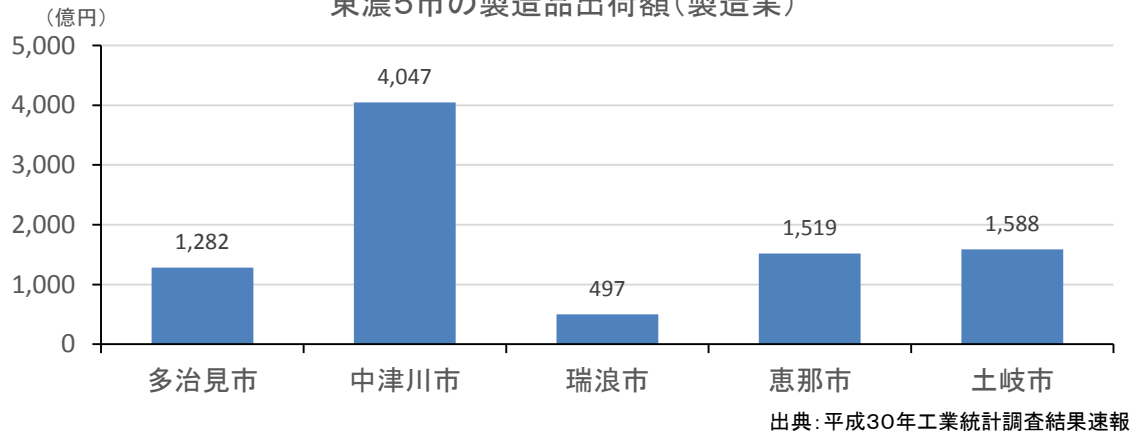
産業

- ◇従業員数の割合では「製造業」が約3割を占める。
- ◇製造業に係る「製造品出荷額」は土岐市について3番目。
- ◇卸売業・小売業に係る「年間商品販売額」は土岐市について4番目。

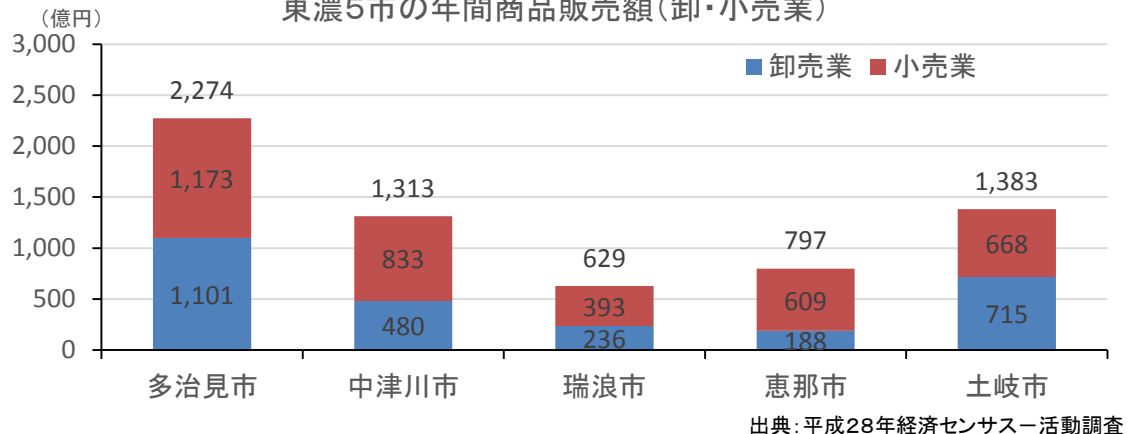
産業別従業員数の構成比



東濃5市の製造品出荷額（製造業）

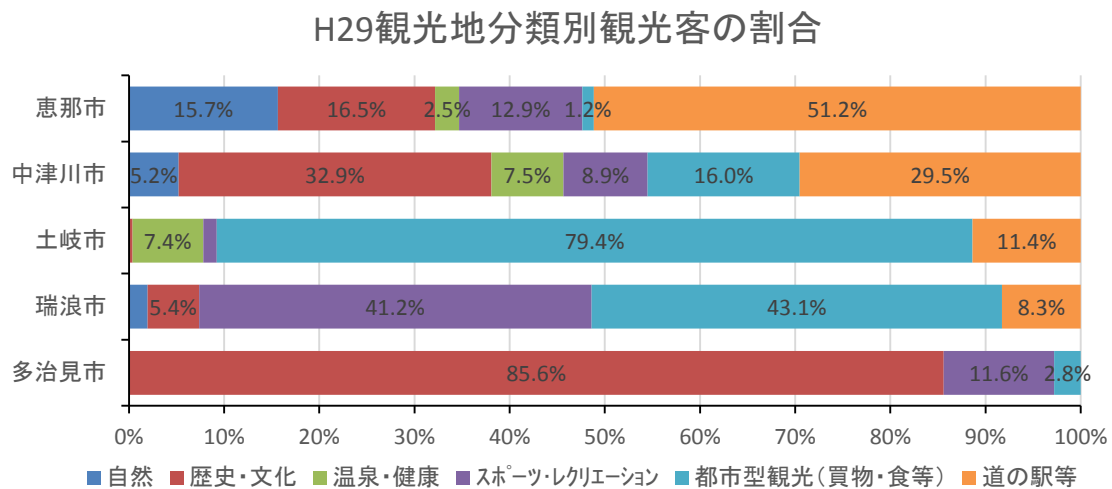
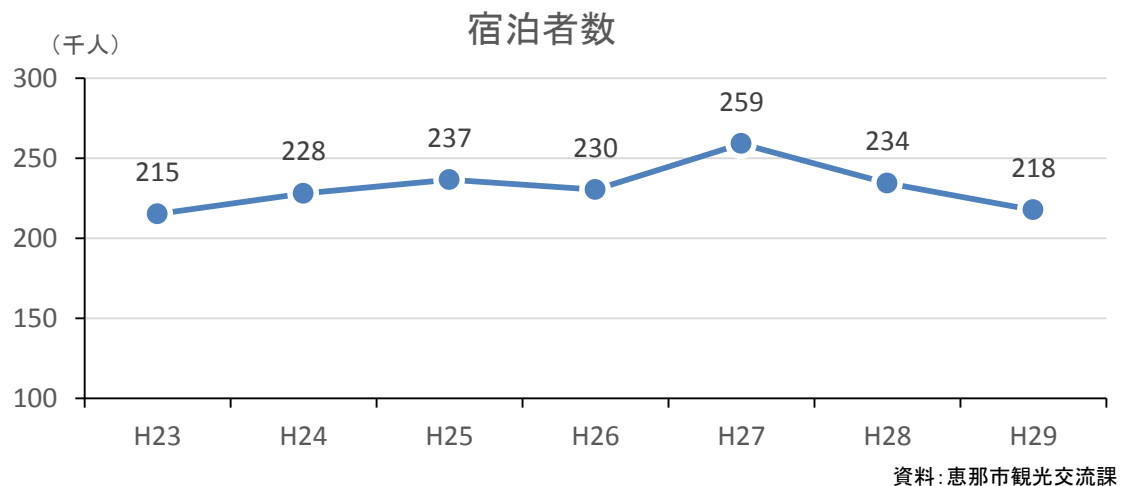
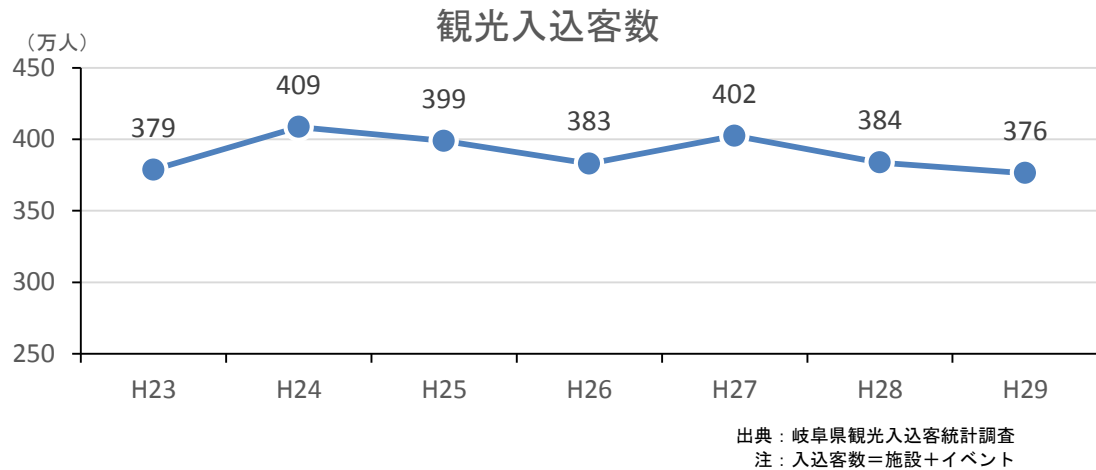


東濃5市の年間商品販売額（卸・小売業）



観光・交流

- ◇平成29年の観光客入込客数は約376万人であり、横ばいの傾向である。
- ◇平成29年の宿泊者数は約22万人であり、平成27年をピークに減少傾向にある。
- ◇平成29年の観光地分類別観光客の割合をみると、恵那市では「道の駅等」で5割を占めている。



「半分、青い。」の効果

○岩村町の主要観光施設の観光入込客数（H30年4月～2月末）

観光施設等	入込客数
岩村城下町町屋5施設	317,047人（前年比3.8倍）
えなてらす、いわむら。（観光案内所）	126,104人（前年比9.2倍）
岩村休憩所（旧振興事務所）	62,699人（7月～2月末）



ロケ地となった岩村城下町
（平成30年のGW）



「半分、青い。」と岐阜県の取組が
第9回ロケーションジャパン大賞
最優秀賞のグランプリ受賞

大河ドラマ「麒麟がくる」

○明智光秀ラッピング列車

運行期間：2019年3月30日～2021年3月



出発式の様子



「住みたい田舎」 東海エリア総合2位

2019「住みたい田舎」 ベストランキング

東海エリア総合部門 第2位獲得！

【部門別ランキング（全国12エリア）】



若者世代が住みたい田舎部門



総合部門、子育て世代が住みたい田舎
シニア世代が住みたい田舎、自然の恵み部門



2019年版 第7回「住みたい田舎」ベストランキング発表！
人生がもっと豊かになる！ 田舎暮らしの本 2019年2月号

田舎暮らし

大反響！ 全国663自治体が田舎暮らしの魅力を競い合う！
「住みたい田舎」を競い合う！

発表！2019年版 第7回「住みたい田舎」ベストランキング

◎大分県豊後高田市が7回連続ベスト3入り達成！
◎鳥取県鳥取市が3部門で1位に！
◎千葉県いすみ市が新設「自然の恵み」部門1位

全国12エリア別トップ10 & 編集部注目のユニーク自治体

北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、北九州、南九州
各部門トップ10自治体発表！

人口10万人未満の
小さなまちランキング
総合1位 大分県豊後高田市
自然の恵み部門1位 千葉県いすみ市
子育て世代が住みたい田舎部門1位 大分県豊後高田市
シニア世代が住みたい田舎部門1位 鳥取県鳥取市

人口10万人以上の
大きなまちランキング
総合1位 鳥取県鳥取市
自然の恵み部門1位 鳥取県鳥取市
子育て世代が住みたい田舎部門1位 鳥取県鳥取市
シニア世代が住みたい田舎部門1位 鳥取県鳥取市